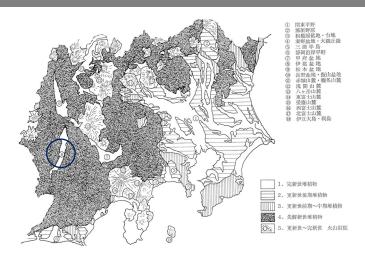
8.伊那盆地 3.関東地方

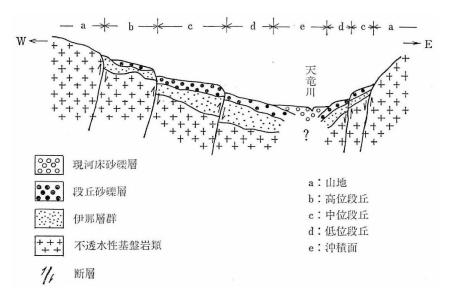


地形•地質

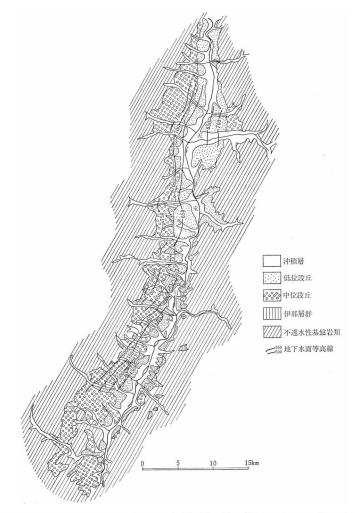
伊那谷は、木曾山脈と伊那山脈とに挟まれた、最大幅 7km、延長約 53km の天竜川沿いの狭長な盆地です。段丘の発達のよい地域で、一般に高・中・低位の段丘群に分けられています。

地下水

伊那盆地の不透水性基盤は、主として中生代の花崗岩類からなり、主な帯水層は 鮮新〜更新世の伊那層群・更新世の段丘堆積層および現河床堆積物です。段丘崖に は湧水がいたるところにあります。



伊那盆地模式断面図



時	代	地		質	層	序	帯水層の評価
	完新世	沖	積 層		氾濫原堆積物		厚い砂礫層最もすぐれた 帯水層 (不圧)
第四紀	更	段	低位段丘群		木下礫層一古町礫層 南殿礫層一名子礫層		10~15 m以上の砂礫層良 好な帯水層(不圧)
	新	丘堆積	中位段丘群		神子柴礫層一飯田礫層		10m±の砂礫層 やや良好な帯水層
	世	層	高位段丘群		大泉礫層一大島礫層 高尾礫層		礫層が薄く,風化も進み, 帯水能は劣る
第三紀	一?一 鮮 新 世	伊 那 層 群		伊那層上部 (ミソベタ泥流) 掘 起	久米・親 田礫層 基 層	固結度がやや高く、帯水 能は悪い	
1 2 1	中生代	花 崗 岩 類 (不透水性基盤岩類)				不透水性基盤 裂か水が期待される	

伊那盆地の水文地質概要図と水文地質層序表

出典 日本の地下水 (農業用地下水研究グループ,1986) (一部加筆)

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記のWebページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/(日本地下水学会)